

JLAU
資格教育セミナー
Vol.01

ランドスケープを語る

～造園領域のアイデンティティ論からの提起～

2020.1.24 (Fri)
18:30～20:30

昭和46年に建設業法の改正で造園工事業として土木領域の専門工事のひとつに組み入れられたこと、そのことで造園産業が大きく発展したこと、一方造園のアイデンティティに大きな影響があったであろうことから30年以上前から造園のアイデンティティが議論されてきました。これまでに造園学会等において、設計、施工者を含めて議論されてきた造園領域のアイデンティティ論のその後から見えてきている造園領域の存在と危うさと解決方策案、登録ランドスケープアーキテクト(RLA)制度が確立されてきた経緯を再認識することで今後の資格制度の可能性について考えていきたいと思います。

会場：みんなの会議室 代々木6F 東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目14番地10号新宿明治通りビル6階

定員：40名（先着順/事前申し込み制 定員になり次第締め切らせて頂きます。）

申し込み方法：下記のURLから、申し込みフォームよりお申込み下さい。

<https://forms.gle/9fGixioEZV9GMg6U7>

参加費：JLAU・CLA・一造会 会員：1,000円、一般：2,000円、学生：1,000円

お問い合わせ：shikaku-kyouiku@jlau.or.jp JLAU 資格教育委員会セミナー担当まで



講師プロフィール・略歴

福成 敬三 KEIZOU FUKUNARI
フォーサイト緑地環境研究所 代表

技術士（建設部門・都市及び地方計画）、1級造園施工管理技士（一造会フェロー）、1級土木施工管理技士、樹木医、登録ランドスケープアーキテクト、公園管理運営士、環境再生医（上級）、自然再生士、グリーンアドバイザー、グリーンセイバー、エコピープル、食品衛生責任者、調理師。法政大学生命科学部兼任講師。東京大学大学院等5校での非常勤講師歴30年、著作は（一社）日本公園緑地協会発行「造園施工管理技術編」、彰国社刊「ランドスケープの仕事」「造園がわかる本」、大誠社刊「樹木医ことはじめ」（いずれも共著）



*当日の連絡先：080-3396-5863（担当：手塚）